

“ふじのくに美しく品格のある邑”から季節の情報を発信

季刊誌  
「むらのおと」



Vol. 23  
2019 Autumn

# むらのおと

## むらの声 mura note file

- 諸井里山の会 (袋井市)
- 佐吉の里・山口 (湖西市)
- 大川 (東伊豆町)
- 吉久保日吉の里 (小山町)

小谷あゆみの「むらレポ」Vol. 14  
天方 (森町)  
ワールドワークレポート  
静岡大学  
とうもんの里 (掛川市・袋井市・磐田市)  
Foreigner's Eye  
徳山 (川根本町)  
イベントカレンダー



むらとりっぶ  
【オクシズエリア】(静岡市)

- 奥長島 (足久保)
- 有東木
- 玉川
- 大代
- 清沢
- 奥豊科 大川
- 水見色
- 大沢地区



むら  
の  
よ  
し  
と  
Vol. 23  
2019  
Autumn

CONTENTS

むらの声 mura note file

- #01 諸井里山の会 (袋井市) ————— 03
- #02 佐吉の里・山口 (湖西市) ————— 05
- #03 大川 (東伊豆町) ————— 07
- #04 吉久保日吉の里 (小山町) ————— 09

小谷あゆみの「むらレポ」 Vol.14  
天方 (森町) ————— 11

フィールドワークレポート  
静岡大学  
とうもんの里 (掛川市・袋井市・磐田市) — 13

Foreigner's Eye  
徳山 (川根本町) ————— 14

- むらとりっぷ【オクシズエリア】(静岡市)
- 奥長島(足久保) ————— 15
  - 有東木
  - 玉川
  - 大代
  - 清沢 ————— 16
  - 奥藁科・大川
  - 水見色
  - 大沢地区

イベントカレンダー ————— 17



表紙/久留女木の棚田～竜宮小僧伝説の邑～(浜松市)  
7.7haの面積に約800枚の田んぼが広がる久留女木の棚田は、県内屈指の耕作面積を誇り、その美しい景観は「日本の棚田百選」や「静岡県景観賞」に選ばれています。「直虎が見た風景再生プロジェクト」として、「稲作体験会」「久留女木棚田塾」など、米作りに触れ、耕作を学ぶ多くの人々が訪れます。(第4回静岡県農村の魅力フォトコンテスト入賞作品/「稲が飛ぶ」松浦嘉人)



登録  
129  
邑

(令和元年9月現在)

「ふじのくに美しく  
品格のある邑づくり」連合とは

「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合とは、邑づくりの趣旨に賛同した県内全35市町、静岡県、企業等が会員となり、「美しく品格のある邑」の魅力向上やブランド力強化のために、広報活動、情報収集、調査研究を行い、「美しく品格のある邑」についての審査・登録事務を行う組織です。

邑名/00 記事掲載邑



荒れ果てた里山が  
有志数人の手で復活し  
地域の大切な場所に変わる

mura note file No  
#01  
坂のまち

田畑に囲まれた住宅街のすぐそばに、1.7haもの自然豊かな里山が広がっています。かつては雑草が生い茂り、不法投棄されたゴミが散乱していたこの場所も、現在は地域住民の憩いの場所として生まれ変わりました。手がけたのは、里山の環境整備、地元の子どもたちへ自然体験学



## 諸井里山の会

もろいさとやまのかい

袋井市諸井1810 (諸井里山遊水池公園)

- 車/東名高速袋井ICから車で約11分
- 電車・バス/JR袋井駅からタクシーで約10分

### EVENT info

#### 諸井里山こいのぼり

- 開催/毎年4月上旬～5月上旬の毎日
- 時間/終日(7:00～7:30メンテナンスのためこいのぼりを下ろします)
- 会場/諸井里山遊水池公園



里山の自然を通じて  
地域と子どももがっつながる  
コミュニティづくり



③ 草木や昆虫の名前、木の実を使った工作など、豊かな自然を題材に自然教室を開催  
⑤ 農業体験では足踏み脱穀機を使って脱穀作業やしめ縄づくりを指導しています。

習を行っている「諸井里山の会」です。

「ここは自分たちが子どものころにはきれいな川が流れ、魚を捕ったり、トンボやホタルを追いかけたりしていた思い出の場所でした」と話すのは、同会会長の戸塚さん。何かしなくてはと、仲間とともに草刈りからスタート。田んぼだった所には木道を、山には階段を整備。散策道や花壇もできました。数年もたつとザリガニやトンボなどが現れ、徐々にではありますがかつての自然の風景が戻ってきました。現在は、隣接する諸井里山遊水池公園と一体化し、トイレや駐車場が整備され、小さな子どもやお年寄りが気軽に立ち寄れる場所になりました。

同会では、地元の幼稚園や保育園、小学校を対象に、自然観察や昆虫採集などを開催しています。

どんぐりを使ったヤジロベエづくりは、子どもたちに人気だとか。多世代が交流し、年配の人たちの知識や経験が子どもたちにしつかりと伝えられているようです。他にも、小学校へ出向き、昔ながらの農具を使った脱穀体験も行っています。毎年4月になると里山の谷あいは、80匹以上ものこいのぼりで埋め尽くされます。子どもの成長を祈って始まった活動は、1カ月で750人ほどが訪れる人気のイベントにまで成長しました。「最初は幼なじみと一緒に始めた活動でしたが、いまは地元の大人や子どもたち、さらに地域以外にも多くの方が手伝ってくれるよ

むらびとメッセージ

地域住民と子どもたちのふれあいの場として活用

里山で使われるベンチやテーブルの塗装や花壇の花の植え付けは、地元の中学生在がボランティアとしてサポートしてくれています。近隣の小学校などを対象にした自然観察会やものづくりなど、多世代が交流する地域活動の場として、静岡県教育委員会教育長賞や、静岡県コミュニティづくり推進協会 コミュニティ活動優秀賞などをいただくことができました。

戸塚 安雄さん

袋井市諸井出身。定年退職後、地元自治会長などに携わり、仲間とともに諸井里山の会を立ち上げ、同会会長を務める。趣味は野菜づくり、写真、釣り。



うになりました。これからも活動を続け、コミュニケーションの輪がもつと広がってくれたらうれしいです」と戸塚さん。里山から生まれつつなごりは、世代を超えて確かに受け継がれているようです。



① 田んぼだった場所に木道を整備。季節ごとにメンテナンスや草刈りなどを行い、美しい自然を守り続けています。  
② 近隣の中学生がボランティアで広場にあるベンチやテーブルを塗装

里山には全長1kmほどの遊歩道が整備され、四季折々の花や自然が訪れる人の目を楽しませてくれます。敷地の一角には、伐採をまぬがれ移植されたイチョウの大木があり、秋には紅葉が見事。袋井市街を見渡す展望台や駐車場もあるので、気軽に散策に来てください。





mura note file No.  
#02  
むらのおと

# 世界的発明王を生んだ ちいさな邑に宿る誇り

## 今も暮らしに活力を与える 偉大なる先人の存在

冬の間、乾いていた茶褐色の水田が、清らかな瑞々しさを取りもどす春。やがて夏にはその光景がまばゆい陽光に青々ときらめき、秋には黄金色の稲穂があたりを染める。米づくりの盛んな湖西市には、そんな美しい四季があります。「佐吉の里・山口」もその一つ。「ここは大所帯じゃないし、昔から知っている仲間ばかりなので、団結しやすい土地柄です。みかんの防除用スプリンクラーの配管も、その昔、みんなで協力してつくりました」。過疎高齢が進む中、農村風景を守るため5年前に立ち上がった「山口保全組合」の人たちは、邑の長所をそう語ります。稲作のほかにミカン栽培も盛んで、養豚における出荷頭数も県内屈指。端から端までわずか2.5kmほどの邑ですが、農業地区としての活気や自負が垣間見えます。

晩秋を迎え、収穫を終えた農

  
**佐吉の里・山口**  
さきちのさと・やまぐち

静岡県湖西市山口113-2  
(豊田佐吉記念館)

●車 / 東名高速三ヶ日ICから30分  
●電車・バス / JR鷺津駅からコーちゃんバス・白須賀鷺津線 長谷西行き「豊田佐吉記念館」下車(約15分) ※バスは土日運休  
またはJR鷺津駅からタクシーで約10分

村は閑寂な風景に包まれるものですが、邑では1年で最も賑わう行事が行われます。かつて一帯が遠江国と呼ばれていた頃、この山口村で生まれ、国内外において84件もの特許を取得して発明王と呼ばれた、豊田佐吉の功績を讃える「豊田佐吉翁顕彰祭」です。そう、山口は、今や世界的企業となったトヨタグループ創始者の生誕地なのです。開催日は佐吉の命日である10月30日。当日はトヨタの名譽会長の豊田章一郎氏、社長の豊田章男氏をはじめ、関係企業の代表クラス、いわば日本経済界の重鎮が、この小さな邑に顔を揃え

EVENT info

豊田佐吉翁顕彰祭

- 開催 / 毎年10月30日
- 会場 / 鷺津中学校 他
- 時間 / 10:00~



豊田佐吉翁顕彰祭の様子



- ①記念館とその奥にある佐吉の生家には、佐吉の発明の代表格である織機の数々が展示されています。
- ②佐吉の生家の脇にある休憩所の織機は、実際に動かして機織りの模擬体験をすることができます。
- ③米づくり、養豚と並び、みかんの産地でもある山口。昔はどの家の軒先にも1本くらいはみかんの木が生えていたそうです。
- ④邑のいたるところで季節の花々を鑑賞することができます。育てているのは保全会とともに活動をする女性主体の「山口花の会」。
- ⑤水田の広がる山口の風景。農地や農業用施設を維持管理する「山口保全組合」をはじめ、邑ひとたちの手によって美しい景観が保たれています。中央奥に見えるのが豊田佐吉記念館。



邑ひとナッセージ

心の交流がある  
顕彰祭は  
邑びとの誇りです。

顕彰祭では、トヨタ関連企業の幹部クラス、湖西市長、市内企業のトップの人たち、そして邑人を交えた、心温まる交流があります。名誉会長のことも、みんな『章一郎さん』と呼んで慕っています。顕彰祭は私たちの誇りであり、一番の楽しみです。



野口 和明さん

旧山口村生まれ。この地で育ち、会社員として勤務していた頃も、山口を離れなかった地元人。現在は家業のみかん農家を継ぎながら、地域のために尽力。現・山口保全組合長。

ます。中でも豊田章一郎名誉会長は「毎年、ここに来るのが本当に楽しみです」と語り、どん

な予定を差し置いても欠かさず出席しているそうです。「佐吉翁は偉人ですが、祖父が幼いころは、たこあげなど遊んでもらったと思えばよく話してくれました。だから面識はなくても身近に感じているし、邑のみんなも並々ならぬ思い入れを持っています。要するに特別な存在なんですよ」。ほがらかにそう語る邑びとの言葉は、世界の発明王と故郷への誇りに満ち、それが今の暮らしにも潤いと活力を与えていることを感じさせてくれます。

**買ってきて!**

近隣の「道の駅 潮見坂」で山口産の米や野菜が購入できます。また市内の和菓子店「ひので軒」では、佐吉にちなんだ銘菓「くるまもなか」などを製造・販売しています。

●道の駅 潮見坂  
湖西市白須賀1896-2  
年中無休  
8:00~19:00

# 大自然の懐で、 伝統文化を守り続ける 悠久の郷

mura note file No  
#03  
むらの  
うらみ

邑のルーツを紐解く

築城石の古文書と

三島神社の三番叟

東伊豆町北端の急傾斜地に広がる大川地区は、良質な温泉と山、川、海の大自然に抱かれた小さな邑です。昔は山に群生する椿を用いた炭焼きやシキミ栽培が盛んで、明治初期には薬草・ミシマサイコの産地としても有名に。その後は絹サヤや柑橘類、ストレリチアの花など、時代とともに主要農産物が移り変わり、現在はワサビも名物です。



大川三島神社。名宮大工・石田半兵衛の手による拜殿向拝と脇障子の彫刻は匠巻。

大川  
おおかわ



賀茂郡東伊豆町大川78  
(三島神社)

- 車 / 東名高速沼津ICまたは新東名高速長泉沼津ICから国道135号経由で約110分
- 電車・バス / 伊豆急行伊豆大川駅下車

伝統芸能の三番叟は、三島神社例大祭で神事に合わせて奉納。



## EVENT info

### 大川三島神社大祭

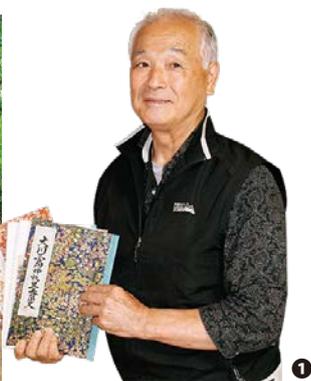
- 開催 / 10月28日~29日
- 会場 / 三島神社境内(東伊豆町大川78)
- 内容 / 28日宵祭…各組の演芸・夜店など  
29日本祭(10時~)は神事に合わせて三番叟奉納、山車・樽神輿など

三島神社のお祭りでは、区内各組による演芸や山車の引き回しなども行われます。





①伊豆各地の三番叟や邑の説話など伝統文化を研究し、冊子にまとめる山田稔さん。  
 ②築城石などの古文書の解読に尽力する飯田伊三男さん(右)と区長の稲葉保さん。後ろの巨石は港まで運べず放置されたという「ぼなき石」。  
 ③築城石関係の古文書。これは1635年に9人の大名による石の預かり証文。邑には他にも江戸末期の村絵図など貴重な歴史資料が多数残ります。



決して産業に恵まれた邑では  
 ありませんが、徳川家康が開幕  
 後に江戸城改修を行った際に  
 は、築城石の一大産地となりまし  
 た。任務を受けた大名たちはこの  
 地の採石場から、競うように巨石  
 を切り出し船で運搬。今も邑の  
 至る所に大名の刻印入りの大石  
 が点在し、中でも町指定文化財  
 である「ぼなき石」には、羽柴左  
 衛門大夫(福島正則)の名前と○  
 に二ツ雁紋の印がはつきりと刻ま  
 れています。

伊豆には他にも築城石の産地  
 がありますが、大川が特に優れ  
 ているのは、当時の諸大名から  
 届いた石の預かり証文などの古  
 文書が数多く現存すること。こ  
 の歴史的財産を残すべく、前区  
 長の飯田伊三男さんが約4年前  
 から古文書の解読に着手。邑の  
 年配者が集う「いきいきサロ  
 ン」などで語り広めています。  
 歴史が息づく邑には、もう一  
 つ大切に守り続ける宝がありま  
 す。それは、大川三島神社と伝  
 統芸能の三番叟です。三島神社  
 は、室町中期(1454年)の  
 改修時に納めた棟札と、松崎町  
 出身の名工・石田半兵衛が手掛  
 けた拝殿の彫刻が町の文化財に  
 指定されている邑の鎮守。毎年  
 10月末に行われる例大祭は、区

民が総出で参加し絆を深める  
 一大行事で、昔より連綿と続  
 けられ、青年会により三番叟  
 が奉納されてきました。一時  
 は、少子化に伴う青年会の解  
 散で存続危機に陥りましたが、  
 平成21年に全邑びとから  
 なる三番叟保存会を発足。演  
 舞回数は縮小されたものの、  
 邑のルーツであり、心のより  
 所でもある祭り文化と伝統芸  
 能を引き継いでいます。  
 この他にも、邑には区民で  
 造った大川自然椿園や6月は  
 ほたる鑑賞会でにぎわう竹ヶ  
 沢公園、アマゴ釣りが楽しめる  
 向井田川(大川)や温泉など、  
 大地の恵みも満載。厳かな  
 自然の中で悠久の歴史情緒  
 を感じてみてください。

邑びとメッセージ

伝統文化を  
守り続けることが  
邑人の絆も育む

大川は小さな集落ですが、美しい自然と伝統文化を皆で大切に守り続けています。特に三島神社の祭りは、1か月以上前から準備を始め、老若男女全ての邑人が役割を担って参加。祭りの諸行事を通じて邑の規範や儀礼、しきたりなどで連帯感が一層強くなる効果があります。そこで育まれた絆や愛郷心が、道路整備や防災訓練などへの協力の高さにもつながっています。築城石などの貴重な古文書についても、廃校になった小学校を使った資料館造りを検討中です。

稲葉 保さん

地元JAに勤務する。現在は大川区長を務める。



湯の郷でもある大川の名物といえば、大川海岸の波打ち際にある公共露天風呂「磯の湯」。荒天時以外は年中無休、ワンコインの500円で、良質な温泉を楽しめます。眼前に広がるのは雄大な相模灘。伊豆大島も望む開放的な空間で、ぜひ心も身体もフレッシュしてみてください!(平日11:00~18:00 ※土日祝と7~8月は20:00まで)



- ④かつての名主の庭園を譲り受けて整備された竹ヶ沢公園。毎年6月上~中旬には「ほたる鑑賞の夕べ」を開催。
- ⑤8月には地元っ子を対象に、アマゴのつかみ取り大会を開催。子どもたちが川や自然に親しむ機会を作っています。
- ⑥急傾斜地に広がる柑橘畑。温州みかんやニューサマーオレンジ等が生産されています。





# 半世紀以上に渡る ボランティア活動を通じて、 一致団結!

mura note file No  
#04  
根のちむ

## 富士山と金時山をのぞむ 美しい農村風景を守り、 育てた野菜で被災地を支援

駿東郡小山町の「吉久保日吉の里」。西に雄大な富士山、東に三百名山の金時山を眺める雄大な景色が自慢です。昭和42年に結成された邑の有志によるボランティア団体「日吉会」と、地域の資源を活かし守る「吉久保地域自然保全会」が、邑を良くし、盛り上げるために活動しています。稲作が盛んで、地域の特産米「こてんぼこしひかり」は、甘く艶やかな食味が好評。階段状の水田が美しく、黄金色の稲穂が頭を垂れる頃には、県道395号を下った辺りに群生するヒガンバナも満開に。その真つ赤な景色は、まさに圧巻。邑びとたちが知って欲しいと願う隠れた名所です。吉久保の交差点そばには「ハス田」があり、御殿場市塚原地区から譲り受けた約30種ものハスが植えられています。邑びとたちが丹精込め

て育てるハスは、代わる代わる大輪の花をつけ、7月から9月まで訪れる人の目を惹きつけます。初夏の夜を彩るホタルを守る活動など、地域の自然を次世代へ引き継ぐ活動も活発です。

「日吉会」では、休耕地を借り受けてトウモロコシやサツマイモ、ジャガイモなどを栽培し、毎年7〜8月に「あおぞら市」を開催して販売しています。この市には、会に参加する農家の朝獲れ野菜も並びます。また、地域の祭りでは、自らの手で育てたジャガイモで作るじゃがバターも販売。ほくほくと美味し

  
**吉久保  
日吉の里**  
よしくほひよしのさと

小山町吉久保152  
(吉久保水神社)

- 東名高速足柄スマートICから約10分
- 電車・バス/JR御殿場線足柄駅から徒歩約50分



県道151号と394号の交差点「吉久保」を東へ約50m進んだところにある「ハス田」。コンクリートに覆われた三角地に水を張り、育てています。会員はもちろん、地主や地域の人々の協力で、毎年、美しい花を咲かせます。ハスの花の見頃は7～9月まで。約30種が次々と開花するので、長く楽しめます。多くの写真愛好家が訪れます。



1

- ①休耕地を借り受け、トウモロコシやジャガイモ、サツマイモなどを栽培。みんなで汗を流し、丹精込めて育てます。
- ②獲れたトウモロコシは朝収穫し、「あおぞら市」で販売します。ひっきりなしにお客さんがやってきて、飛ぶように売れていきます。※「あおぞら市」は7～8月の毎週土曜日朝9時～
- ③女性が活躍する「日吉会」。模擬店では、自分たちで育てたジャガイモを調理し、販売するところまで全て、自分たちで手がけます。



2



3

金時山を眺める畑で、甘くて美味しいトウモロコシを育てます。



邑びと+メッセージ

この精神と活動を全国へ。

2010年夏、小山町は水害に遭いました。2018年は、わが町同様に豪雨による災害に遭った福知山市へ寄付を行いました。地域へのボランティア精神で始まった「日吉会」ですが、今や全国へと思いを馳せるようになりました。この活動と精神を、次世代へと繋いでいきたいです。

いじやがバターは大人気で、出店のたびに完売するそうです。あおぞら市が始まったのは2011年。2010年夏の豪雨で水害に遭った小山町を、同じ県境の町だからと支援してくれた福島県新地町に対して、恩返しをするのが目的でした。あおぞら市で得た売上金と自ら育てた農産物を携え、5年間、福島へ出向いて炊き出しを実施。仮設住宅での暮らしや閑散とした街並みを見た邑びとたちは、ふるさとの大切さを改めて認識し、以来、地元の自然や暮らしを守る活動がより活発になったそうです。

岩田 法次さん

小山町吉久保地区に生まれ育つ。静岡市内に勤務していた頃は単身赴任で同地区を離れていたが、日吉会にはその間も所属。令和元年度の日吉会会長を務める。会の中にある「吉久保よいとこ見つけ隊作り隊」にも参加。



「日吉社」は、「日吉会」の名の由来となっている地域の氏神様。新年には、会で作った門松を奉納しています。



**EVENT info**  
**吉久保伊奈神社祭典**  
 ●開催/10月26日(土)  
 ●時間/18:00~21:00  
 ●会場/吉久保水神社 境内

## あぜ道で静かに出番を待っていた半夏生

森町天方は、清流太田川沿いに点在する集落からなり、ふじのくに美しく品格のある邑に選ばれています。天方地区にある鍛冶島は、国内でも有数の半夏生の自生群生地で、森の中に生い茂る一面の緑に白い葉が浮かび上がる光景はなんとも幻想的で、おとぎの世界を思わせます。

半夏生とは、二十四節気の夏至から数えて11日目(今年は7月2日でした)を指し、昔から「田植えは半夏生までに終える」と、農事曆に記され、俳句では夏の季語になっています。この頃に花が咲き、葉の一部が白くなることから名付けられたのが、植物の「半夏生」です。

群生地までは2ヶ所の入り口(いずれも駐車場付き)がありますが、今回は門田集落を出発して1キロほどのハイキングをしました。入り口には手作りの杖が立て掛けてあり、一本一本に「あなたの足が頼りです」「ようこそ半夏生の里へ」などと書かれたメッセージを読んで思わずニンマリ。

この散策道は、昔は子どもたちの通学路でした。人が減り、荒れてい

静岡県ふじのくに美しく品格のある邑づくり推進委員

小谷あゆみの「むらレポ」  
Vol. 14

# 半夏生の群生地は森の神様からの贈り物

小谷あゆみ

フリーアナウンサー／農業ジャーナリスト 野菜をつくるベジアナとして農ある暮らしの豊かさを提唱。全国の農村を取材。NHKEテレ「ハートネットTV介護百人一首」司会、ブログ「ベジアナの野菜畑チャンネル」で食と農に関わる情報を配信中。静岡県ふじのくに美しく品格のある邑づくり推進委員



半夏生が咲く頃、駐車場で行われる呈茶サービス

## 天方

あまがた  
周智郡森町鍛冶島544  
(かづさや)

- 車／新東名高速森掛川ICから約10分  
東名高速袋井ICから約30分
- 電車／天竜浜名湖鉄道遠州森駅から町営バス(予約制)下田バス下車(約15分)

た山道を平成28年、「てんぼうの里半夏生」のメンバー9人でよみがえらせたのです。県の事業「美しい茶園でつながるプロジェクト」を活用し、雑木の枝を払い、下草を刈り、木道から展望台までほとんど手作業で整備しました。

「てんぼうの里半夏生」代表の浦上正男さん(74)によると、ドクダミ科の半夏生は昔から田んぼの畦によく生えていたそうです。雑草だと引っこ抜いていた半夏生に、「こんなにも人を呼ぶ魅力があったとは」と、話してくれました。田んぼも人通りもなくなつた森の中で半夏生は、静かに根を張り、見事な群生地に成長していったのです。代々の土地を耕してきた人たちへの森からの恩返しに思えました。

## 心と身体の充足に歩けばヘルスツーリズム

てんぼうの里では、今年初めて、夜のライトアップを開催しました。

梅雨のさなかでしたが、多くの家族づれやカップルが来てくれたそうです。イベントも保全活動もボランティアとはいえ費用はかかります。

一方、訪問客にしてみれば、こんなにも清々しく緑の中で癒され、リフレッシュできて、インスタ映えする写真まで撮れるのですから、入場料を払ってでも訪れたい有名な庭園と同じです。有料化には責任も生れますが、人が喜んで払いたくなる仕組みづくりが必要です。ヒントはすぐそばの無農薬ブルーベリー園にあります。1カップ500円の摘み取り体験で、試食もできると人気です。観光客が収穫してくれて、喜ぶ顔が見られ、おいしいおいしいと褒めてくれるのですから、一石何鳥かわかりません。こうした活動には森町ツーリズム研究会の会長の吉筋恵治さん(67)も協力して、町との連携やPRに一役買っています。

さらに3年前からは、耕作者のいなくなつた20aの田んぼでもち米栽培を始めました。感謝祭の餅つきには100人以上が集まり、販売したもち米は完売、活動資金にもなっています。半夏生をきっかけに鍛冶島は、歩いて、眺めて、参加するヘルスツーリズムで、人々に心と身体の健康を提供しています。



ブルーベリー園の  
瀧下進一さん。  
数種類のブルー  
ベリーの食べ比べ  
が楽しい。

葉が白く  
半化粧するから  
半夏生という  
説も!

↑左から岡本かねさん、店長の娘の北川歩美さん、瀧下りつ子さん、店長の社澤和子さん、夫の社澤和好さん。



お惣菜「かづさや」の地元野菜などを使った煮物やポテトサラダが人気。社澤さんが自宅車庫を改装して2016年にオープン。移動販売やデイサービスでも販売し、買い物に不便なお年寄りに喜ばれています。

てんぼうの里半夏生の活動が平成29年度に静岡県景観賞優秀賞を受賞しました。

左から萩原誠さん、尾崎みつえさん、筆者、浦上正男さん、吉筋恵治さん、社澤和好さん、西澤静男さん



**半夏生**  
Hangeshou

フィールドワーク  
レポート  
静岡大学

静岡大学では、農学部や地域創造学環で、地域課題を解決する能力を育むため、現地でのフィールドワークを行っています。今回は「田園空間博物館 南遠州とうもんの里」(以下、とうもんの里)と明記)での取り組みを紹介します。

地域創造学環では、2016年度よりNPO法人とうもんの会と連携し、「とうもんの里」で活動を行っています。子どもたちを「とうもんの里」に呼び込むための環境づくりを目的とし、さらに学生たちがその「鍵(key)」になるとの思いを込めて「Key Mon(キーモン)」を合言葉に活動しています。

自然の魅力  
次世代の子どもたちへ

「とうもんの里」では、とうもんの会の方々が中心となって、子どもたちに農業や農村の魅力を伝える活動が行われています。しかし、ここを訪れる子どもは多くはありません。そこで私たちは、地域の自然と触れあいながら、子どもたちが興味を示し、楽しめるイベントの企画に取り組んでいます。

例えば、昨年度は学生たちが製作した竹の遊具で子どもたちと遊んだり、道端に生えている植物を探して行う「ネイチャービンゴ」を実施しました。また「とうもんの里」で見つけた動植物を絵に描いて、自分だけの図鑑

子どもたちが集う、  
笑顔があふれる場  
~「とうもんの里」に来て自然を楽しもう!~

をつくる「とうもん図鑑」も考案しました。今年度は、チョークを使って「とうもんの里」の壁一面にお絵かきをする「チョークアート」や、自分で探した草花を貼り付けて絵を描く「草花アート」を実施しています。

「とうもんの里」で  
私たちが学んだこと

「昔の人は、低気圧や高気圧なんて気にしちやいなかった。風と反対の方向から台風がやってくるとか、温かい風が吹いたら夏がやってくるとか、海の音が激しいと風が荒れるとか、肌で自然を感じとって、生活をしていった。」

このように先人たちによって育まれ、受け継がれてきた知識や経験は、今でも地域の人びとの暮らしに生き続けています。農業や農村の暮らしは、私たちにとって身近ではありません。「とうもんの里」での活動を通して、私たちは農業・農村の魅力や大切さに気づかされ、またそれは、私たち自身の暮らしを見つめ直す機会にもなりました。

私たちは、これからも、とうもんの会の方々と連携しながら、子どもたちを「とうもんの里」に呼び込むための環境づくりに取り組んでゆきます。  
文：久保山健太(地域創造学環3年)

とうもんの里  
とうもんのさと

掛川市山崎233  
(とうもんの里)

- 車/東名高速掛川ICから約20分
- 電車・バス/JR袋井駅南口から秋葉バスサービス秋葉中遠線に乗車、「石津」下車、徒歩10分

掛川市・袋井市・磐田市の南部に広がる広大な田園地域のことを「とうもん」と言い、「稲面(とうも)」または「田面(たおも)」がその言葉の由来とされる。NPO法人とうもんの会は、とうもんの里総合案内所を拠点に、住む人が誇りを持ち、来る人との心豊かなふれあいを創造していくことを目的に、地域で営まれる農業や農村文化の情報発信、体験交流等を行なっています。



自由にお絵かき! チョークアート



切って! 貼って! 草花アート



3



1



4



2

- 1 学生が製作した竹馬
- 2 自然を使ってネイチャービンゴ
- 3 地元の人に教わってみかんゼリーづくり
- 4 地元NPO法人とうもんの会の方々と



カヴァリアダス祭のお面「似ている…」

# 外国人から見る邑のあれこれ

## MURANOOTE

むらのおとフォリゲーズアイ

# FOREIGNER'S EYE

鹿ん舞の舞台浅間神社の前で。徳山古典芸能保存会 左から上野信吾さん、林泰明さん、澤本等さん、右側の鹿子アゴさん、左側の鹿ヨザさん

### 日本の伝統文化を体感!

大井川の中流域に位置する徳山には、国指定重要無形民俗文化財の「徳山の盆踊」や県指定無形民俗文化財「徳山神楽」が継承されています。

「徳山の盆踊」の一つ「鹿ん舞」は500年程前から継承されている徳山だけの珍しいもので、鹿の神様を奉ると同時に、舞いながら鹿が農地を荒らさないように祈ります。この両側面があるのは驚きでした。なぜなら、ブラジルの神様が悪行を行うことは全くないからです。ゴイアス州には、「カヴァリアダス(馬上槍試合)祭」があり、変った牛のお面をかぶります。日本とは反対に位置するブラジルの祭りや徳山のお面の、その「とぼけた表情」がよく似ているのが不思議だと思いました。

「徳山の盆踊」は見物客も大歓迎!もちろん外国人の皆様も!お面をかぶって写真が撮れたり、簡単になじさも教えてくれます。

また、踊り手を確保するため、小学校の学習発表会で取り組んだり、地区外の子にも声を掛けたりして工夫しています。この魅力的なお祭りが、この先も継承されていくよう応援したいです。

自家栽培の野菜を使った、愛情たっぷりのお昼ごはん「これぞ日本の味」▶



お父さん(横澤幹三さん)とお母さん(くみこさん)と一緒に「コンドハ、トマリタイヨ!」



静岡県くらし・環境部多文化共生課 国際交流員  
**チアゴ・フェルナンド** [ブラジル]

### 忘れられないお父さんお母さんの O・MO・TE・NA・SHI!!

徳山の豊かさを味わうのには、農家民宿を利用するのがおすすめです。なんと、これまで利用した人の半数以上が、外国人だそうです。

自家栽培の野菜を使った手作りの料理が魅力で、「あしたばの宿」の横澤さん夫婦が一生懸命、食べ切れないほどの宴を用意してくださいました。お二人が優しく気さくに接してくれて、アットホームな時間を過ごすことができ、このような家庭的な触れ合いが、外国人を惹きつけているんだと実感しました。

### 日本の若い世代そして外国人を惹きつける徳山の魅力

徳山にも他地域同様、少子高齢化などの課題はありますが、近年移り住んで来る若い人たちもいるそうです。住み慣れた方々は、なぜなのかわからないと話しますが、実際に徳山を訪問し、文化や自然、そして地域住民の方々と接してみると、都会の暮らしでは不足しがちな、人と人、あるいは人と自然との濃密な関わりを、この徳山では充足できるからだという気がしました。

〈文:チアゴ・フェルナンド〉



「鹿」になるための棒さばきを習う。意外と簡単!(ヨザさんは、苦戦!)



徳山のすぐそばにある「フォーレなかかわね茶茗館」で、川根茶を味わう。淹れ方でこんなにも味が変わるなんて!茶文化に触れる貴重な体験でした。

大人のためのかき氷「川根紅茶のグラッタケッカ」外国人にもウケること間違いなし!

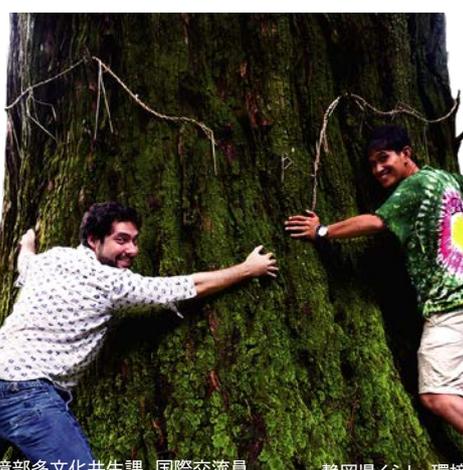


**徳山**  
とくやま

川根本町徳山1369 (徳山コミュニティ防災センター)

- 車 / 新東名高速鳥田金谷ICから国道473号経由で約60分
- 電車・バス / 大井川鐵道駿河徳山駅下車

伝統文化継承のほか、さくらの郷づくりや、ホタルの保全、自然観察公園(ときどきの池)の維持管理などに地域ぐるみで取り組んでいます。毎年4月に開催される徳山さくらまつりでは、しだれ桜やソメイヨシノが咲き誇り地域全体が桜に彩られ、多くの人で賑わいます。



樹齢1000年を超える「浅間神社の鳥居スキ」からパワーチャージ!



静岡県くらし・環境部多文化共生課 国際交流員  
**アディダヤヨザ** [インドネシア]

MURATRIP

むらとりっぷ

# オクシズエリア

「ふじのくに美しく品格のある邑」をエリアごとに案内する「むらとりっぷ」。今号はオクシズエリアにある「食」やアクティビティの人気スポットを紹介。一度訪ねてみれば、きっと新しい邑の魅力と出合えるはず。



奥長島(足久保)  
だんだん茶畑

## 1 歴史を感じる石積みは静岡茶のルーツ

📍静岡市葵区足久保奥組  
☎054-221-2646(静岡県農地整備課:しずおか棚田・里地くらぶ事務局)  
●期間/毎月第3土曜(茶畑保全活動)  
●時間/9:00~16:00  
●交通/車:新東名高速新静岡ICから県道29号、205号経由約20分  
電車・バス:JR静岡駅からしずてつジャストラインバス美和大谷線奥長島行き「奥長島」下車

静岡市葵区の足久保地区は、静岡茶発祥の地と言われるエリア。お茶の栽培に適した気候で、今も良質なお茶を生産しています。ここを訪れたなら、急傾斜地を利用した石積みの段々茶畑は必見。山間にモザイク模様のように広がる茶園は、とても美しく、歴史の石積みを感じさせます。



土地の形状を利用した、石積みの段々茶畑は足久保地区のシンボルです。

## 2 わさび栽培の発祥地! 葉っぱの天ぷらは必食の美味

有東木(うとうぎ)  
農林産物加工販売所  
うつつぎ

有東木は、わさび栽培の発祥地。地元のお母さんたちが切り盛りする地場産品販売所「うつつぎ」では、手打ちそばとともに、わさびの葉の天ぷらも味わえます。わさび漬、わさびのり等の加工品に加え、お茶やほう葉餅等も販売しています。わさび漬体験やそば打ち体験も人気です(要予約)。



📍静岡市葵区有東木280-1 ☎054-298-2900  
●時間/平日10:00~15:00、土日祝9:00~16:00  
●休日/第3火曜、年末年始、農繁期(5月上中旬、詳しくは問い合わせ)  
●交通/車:新東名高速 新静岡ICから県道29号経由約40分  
電車・バス:JR静岡駅からしずてつジャストラインバス「安倍線」運転免許センター行き(麻機行き除く)「有東木橋」下車すぐ(約75分)



## 4 風味豊かな原木しいたけに舌鼓

静岡市の大代地区は、標高約720mの急斜面に茶畑が広がり、静岡のマチュピチュと呼ばれています。特産品は、原木で育てたシイタケ。肉厚で味が濃く、香りが強いのも特長です。志村農園ではシイタケ狩りが体験でき、採ったシイタケはその場で炭火焼きにして食べることもできます。

📍静岡市葵区梅ヶ島2512(志村農園)  
☎054-269-2006  
●時間/10:00~15:00(不定休)  
●交通/車:新東名高速 新静岡ICから県道29号経由約60分  
電車・バス:JR静岡駅からしずてつジャストラインバス「六郎木」下車(約80分)、徒歩約40分

- 1.手打ちそば、地元食材の天ぷら、わさび漬、わさびのりなどがセットになった「うつつぎ定食」は有東木の名物。
- 2.標高約600mという高地にある「うつつぎ」。清流のせせらぎを聞きながら食事ができます。
- 3.有東木のわさびは、シャープな辛味と後味に残るほのかな甘み特徴。絶品です。



玉川  
農産物加工所  
玉ゆら たまゆら  
生地に地元の里芋を練り込んだ「玉ゆらまん」。具材はあんこ、切干大根や季節の具材を詰めたもの。



清流・中河内川のせせらぎも聞こえてきます。

## 3 名物「玉ゆらまん」は売り切れゴメンの人気商品

静岡市の繁華街から車で30分圏内。豊かな山村の風情が味わえる玉川地区の名物は農産物加工所「玉ゆら」の「玉ゆらまん」です。地元の食材をふんだんに使った焼き饅頭には自然の恵みがいっぱい。地域に流れる中河内川は、キャンプ、バーベキュー、川遊びのスポットとしても人気です。

📍静岡市葵区落合742 ☎054-292-2522  
●営業/毎週土・日曜の10:00~15:00  
●交通/車:新東名高速 新静岡ICから県道27号経由約20分  
電車・バス:JR静岡駅からしずてつジャストラインバス安倍線・上落合行き「奥の原」下車(約60分)

湯ノ島温泉の泉質はナトリウム炭酸水素塩泉。無色透明ですが、入浴後は肌がすべすべに。



奥葦科・大川  
湯ノ島温泉  
ゆのしまおんせん

1.山菜水明なロケーションに建つ湯ノ島温泉。2.温泉の休憩所に併設された玄米茶屋。葦科川を眺めながら食事もできます。

## 6 好アクセスの名湯でのんびりゆったり

葦科川沿いにある湯ノ島温泉は、川のせせらぎや山々の緑が楽しめる名湯。ナトリウム炭酸水素塩泉の泉質は、肌がすべすべになると話題。新東名SAスマートICから車で約30分というアクセスの良さも人気の理由。広い休憩所（120人収容）では手打ち蕎麦やおでん等の食事もできます。

📍静岡市葵区湯ノ島304-3 ☎054-291-2177  
 ●時間/9:30~16:30(入場は16:00まで)  
 ●休館日/毎週木曜(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月29日~1月2日)  
 ●料金/大人:500円、小人:200円  
 ●交通/車:新東名高速 静岡スマートICから国道362号、県道60号経由約30分  
 電車・バス:①JR静岡駅からしずつジャストラインバス 葦科線日向日行き「日向」下車、徒歩30分 ②JR静岡駅からしずつジャストラインバス 葦科線日向日行き「谷津バスターミナル」下車、谷津から湯ノ島温泉までデマンドバス(事前予約制)が運行。デマンドバス問い合わせはしずつジャストライン(☎054-277-0622)

清沢  
黒俣の大イチョウ  
くろまたのおおいちよう

## 5 樹齢500年の天然記念物! 見頃は11月中旬から12月上旬

黒俣川沿いの坂野集落に屹立する「黒俣の大イチョウ」は樹高20m、周囲8.7m、推定樹齢500年を誇る静岡県指定天然記念物です。11月中旬から12月上旬にかけて紅葉の見ごろを迎え、近くには周囲を一望できる展望台もあります。手前に並ぶ赤鳥居とのコントラストもキレイです。

📍静岡市葵区黒俣字田島沢  
 ●交通/車:新東名高速静岡スマートICから国道362号、県道32号経由約30分 ※駐車場なし  
 電車・バス:JR静岡駅からしずつジャストラインバス 葦科線久能尾行き終点「久能尾」下車(約1時間)、徒歩約70分



道路を挟んで反対側にある展望台からは周辺の見事な景観も楽しめます。



## 7 ユニークな地元グルメで豊かな山村を味わう

地元のお母さんたちが運営する「水見色きらく市」は、商品開発に力を入れたメニューが自慢。こんにやく唐揚げ、クロワッサンたい焼き、がんもどき、みそカレーなど、バラエティーに富んだ地元グルメは要チェックです。季節ごとに行われる食体験や自然体験プログラムも見逃せません。



こんにやく唐揚げは、手作りこんにやくをタレに漬け込んだ唐揚げ。お肉のような食感。

水見色  
水見色きらく市  
みずみいろきらくいち



📍静岡市葵区水見色808-1 ☎054-279-0766  
 ●開催日時/毎月第2・第4日曜  
 【4~10月】9:00~17:00  
 【11~3月】9:00~16:00  
 ●休館日/毎週火、第1・3木曜、8月14~16日、12月29日~1月4日  
 ●交通/車:新東名高速 静岡スマートICから国道362号経由約30分  
 電車・バス:JR静岡駅からしずつジャストラインバス 葦科線水見色行き「水見色公民館前」下車(約45分)

大代  
茶園風景(静岡のマチュピチュ)



大沢地区  
縁側カフェ  
えんがわカフェ

## 心が落ち着く 贅沢な時間を満喫

民家がお茶とお茶請けを提供する「縁側カフェ」が大人気。地区の全23世帯中、毎回10~12軒ほどが自宅の軒先を開放します。各農家による自園自製のお茶は、それぞれに風味が異なり、何度訪れても新しい発見が。心のこもったお茶請けも魅力。何軒もはしごするカフェ巡りがおすすめ。



1.地域の人たちと会話が弾む「縁側カフェ」。毎回通うリピーターや首都圏から訪れるファンも。2.お茶とお茶請け。地場産品のお土産を販売しているところも。



1.山々に囲まれた斜面に広がる大代地区の茶畑は、インカ帝国(現ペルー)の遺跡、マチュピチュを思わせます。2.志村農園の原木シタケ狩りは一人1,500円~(要予約)。滋味あふれる風味をぜひ!

中 徳山

10月13日(日)

徳山神社祭典

県指定の無形民俗文化財の「徳山の神楽」を奉納する。

徳山神社境内 榛原郡川根本町徳山地区

※徳山コミュニティ防災センターに駐車場あり 徳山コミュニティ防災センター内徳山区事務所 ☎0547-57-2843

中 殿

10月中旬~下旬の土日 コスモスイベント

遊休地を利用したコスモ畑。地元農産物などの販売も。

殿公会堂 藤枝市岡部町殿524 付近

岡岡部総合案内所 ☎054-667-6060

西 らびりんすゆうとう

10月20日(日) 14:00~16:00 稲刈り体験

稲刈り、蓮華(レンゲ)の種まき体験。新米やらまいか2kgつき

ファームカモ田園

浜松市西区雄踏町山崎 ※駐車場あり

園地域活性化プロジェクトらびりんすゆうとう(担当:加茂博子) ☎090-4112-8410 ●会費/2,000円

東 沼田口マンチック街道

10月26日(土) 18:00~(雨天中止)

県指定民族無形文化財 湯立神楽

無病息災と豊年を祈願し湯立神楽の舞を奉納する。

沼田子之神社 御殿場市沼田238 ※駐車場あり

沼田ホテルなっと(代表 根上孝吉) ☎090-7859-3570

東 内房の里

10月下旬~11月中旬 ざる菊畑見ごろ

県道沿いの遊休農地1100㎡にざる菊1500本が開花

富士宮市内房

(県道清水富士宮線沿い)

※隣接地に駐車可

園内房里づくりの会事務局(担当:鈴木隆) ☎090-5623-9599

西 森町南部

10月~11月 治郎柿の収穫時期

皇室にも献上される森の特産品、治郎柿の収穫時期

各直売所 周智郡森町

園森町役場産業課 ☎0538-85-6315

伊 石部赤根田村百笑の里

11月9日(土) 棚田フェス in 棚田音楽祭

稲刈り後の棚田で、プロのアーティスト等呼んで音楽祭を実施。他にも食べ物や雑貨の露店も出店

石部棚田 賀茂郡松崎町石部 ※旧三浦小学校グラウンド駐車場を利用(無料・会場まで送迎あり) 園松崎町役場企画観光課 美しい村推進係 ☎0558-42-3964

西 ほっと龍山

11月10日(日) ほっとびあ龍山産業祭

龍山の特産品や美味しい秋の味覚に出会う。

龍山総合運動場 浜松市天竜区龍山町戸倉

※駐車場あり 園ほっとびあたつやま産業祭実行委員会 浜松市龍山協働センター ☎053-966-2111 ●参加無料

東 白糸の里

11月10日(日) 9:00~12:00

平成棚田ウォーキング大会

原川親水公園出発・白糸自然公園・白糸の滝・駒止の桜・平成棚田・原川親水公園まで約3時間コース

原川親水公園白糸土地改良記念碑前

富士宮市原1793 ※白糸小学校駐車場を利用

園白糸の里事務局(担当:佐藤) ☎090-2181-3962

●参加費無料(昼食に白糸こしひかり塩おにぎり)と豚汁・新米販売)

東 天子ヶ岳の里

9月7日(土) 16:00~20:00

金毘羅神社の祭典

伝統ある祭典。盆踊り、子供相撲大会、打ち上げ花火等を実施

金比羅神社境内 富士宮市村山

園天子ヶ岳の郷保存の会(書記:渡邊和良) ☎0544-54-1332

西 夢未来くんま

9月14日(土)~16日(月・祝)

アルプホルンセミナー

3日間でアルプホルンセミナーを開催。3日目は受講生の発表会とコンサートがあります。

旧熊中学校 浜松市天竜区熊2153 ※駐車場あり

園NPO法人夢未来くんま

☎053-929-0050(担当:大平) ●定員/定員20名

●会費/20,000円(宿泊料は含まない)

東 天子ヶ岳の里

9月20日前後の彼岸花開花時期

彼岸花写真コンクール

平成23年から現在まで半野佐折区民が植栽した彼岸花の開花を撮影する。

半野佐折地区の彼岸花を植栽した道路

富士宮市半野佐折 園天子ヶ岳の郷保存の会

(書記:渡邊和良) ☎0544-54-1332

東 五感で癒される湧水の里ののかしら

10月5日(土) 8:30~15:00

JR東海さわやかウォーキング

猪之頭振興協議会で新商品の「金時落花生のピクルス」試食販売

あざざりフードパーク 富士宮市根原449-11

園NPO法人猪之頭振興協議会 ☎090-8672-2388

中 方ノ上

10月6日(日) 14:00~ 芋掘り会

6月に蔓挿しをした畑で芋掘り。焼き芋にして頂く。

閻魔堂広場(集合) 焼津市方ノ上

園方ノ上美農里事務局(担当:平井) ☎054-629-1607

●参加無料

中 縁結びの村くのわき

10月12日(土) 八幡神社祭典

様々な良縁祈願計七神社を祀る八幡神社の、年に一度の祭典。地元番組手作りのおもてなしも。

三津間集落センター近く 川根本町久野脇付近

園坂本政司 ☎090-5860-1032

東 パノラマ遊花の里

10月12日(土) 9:00~11:00(雨天は13日)

裾野市パノラマロードを花でいっぱいにする会菜の花種まきイベント

裾野市パノラマロードを花でいっぱいにする会の会員(市民団体)とボランティアによる菜の花の種まきイベント

パノラマ遊花の里 裾野市須山地区 ※駐車場無料

園裾野市パノラマロードを花でいっぱいにする会事務局(担当:勝又) ☎055-995-1823(農林振興課)

●1人1本飲み物を支給

中 方ノ上

10月12日(土) 14:00~ 餅つき大会

地元で収穫した古代米で餅つき。つきたてを美味しく頂く。

閻魔堂広場(集合) 焼津市方ノ上

園方ノ上美農里事務局(担当:平井) ☎054-629-1607

●参加無料

Event Calender 邑のイベントカレンダー \* 2019 autumn

9月 September calendar grid with dates 1-30 and holidays marked.

10月 October calendar grid with dates 1-31 and holidays marked.

11月 November calendar grid with dates 1-30 and holidays marked.

Feedback form: あなたのご意見をお聞かせください. Includes contact info for Shizuoka LG.



東 三島箱根西麓地区／中郷地区

12月1日(日) 9:00~14:00

第27回JA三島函南農業祭(畜産祭り)

農産物品評会、三島箱根西麓及び中郷地区を含む三島・函南地区の農産物即売会等

長伏公園 三島市長伏274-3  
三島函南農協 総務課 ☎055-971-8211

伊 浮橋

12月1日(日)

浮橋そばの里祭り 地元産そば粉を使用した手打ちそば・地場野菜の販売

浮橋公民館  
伊豆の国市浮橋900-5  
伊豆の国市商工会 大仁支所 ☎0558-76-3060

西 ひずるしい鎮玉

12月7日(土) 9:30~14:00

復活! 鎮玉和紙をつくろう

冬の里山での伝統的な紙すき体験。里山を歩きながら、紙の原料となる植物も見学できる。

的場四方浄公民館  
浜松市北区引佐町的場512-1 ※駐車場あり  
NPO法人ひずるしい鎮玉(担当:廣瀬稔也)  
☎053-544-1045  
●定員/30名(小学生以上)  
●会費/2,000円(材料費、保険料込み)

西 和地ふるさと会

12月7日(土)・8日(日) 9:30~14:00

和地協働センターまつり

協働センターまつり初日のみ、餅つき大会とつきたてお餅をふるまう(例年600食)。

和地協働センター  
浜松市西区和地町 ※駐車場あり  
和地協働センター  
☎053-486-0253 ●参加無料

中 岡部本郷

12月8日(日) 予定

ふるさとみかん山収穫体験

27種、370本のみかんがある「ふるさとみかん山」で収穫体験やみかんを使った料理の試食会を行う。

福祉センターきすみれふるさとみかん山

藤枝市岡部町内谷1400-1付近  
福祉センターきすみれ  
☎054-667-3144  
●藤枝市在住、藤枝市在勤者が対象。要事前申込み

西 地域いきいき共生! 恩地町環境みどり会

毎月第3日曜日 9:00~9:30

恩地町みどり朝市 地元の農産物販売

恩地町公会堂広場  
浜松市南区恩地町443 ※駐車場あり  
地域いきいき共生! 恩地町環境みどり会  
(代表:見野) ☎053-426-2888

西 竜ヶ石山~西四村の里~

通年 竜ヶ石山ハイキングコース

標高359.1m棚田の緑と遠く灘のコントラスト  
竜ヶ岩洞(集合)  
浜松市北区引佐町田畑193  
※オープンデッキ、トイレ、駐車場あり  
里山元気もりもり隊西四村ふるさと会の会  
☎053-543-0108(竜ヶ岩洞:小野寺)

伊 伊豆見高入谷高原

11月23日(土・祝) 10:00~14:00

伊豆見高入谷高原温泉紅葉ふれあいまつり

農産物即売・もちつき会

伊豆見高入谷高原温泉  
河津町見高2064-13 ※駐車場あり  
伊豆見高入谷高原温泉 ☎0558-32-3556  
●小雨決行

西 夢未来くんま

11月23日(土・祝)

棚田散策・棚田米で竹筒ごはん作り

大栗安 棚田ウォーク

大栗安の棚田(集合:くんま水車の里)  
浜松市天竜区大栗安の棚田 ※駐車場あり  
NPO法人夢未来くんま(担当:石打良子)  
☎053-929-0636  
●会費/大人2,000円、小学生1,000円

東 柚野の里

11月23日(土・祝) 9:00~15:00

芝川日和「柚野の里まつり」

国指定の大鹿窪遺跡の歴史と、里山の自然あふれる柚野地域を楽しめるイベントで、美味しい食の出店も楽しめる。

富士山縄文の里「大鹿館」

富士宮市大鹿窪1556  
柚野の里まつり実行委員会(富士宮市観光課)  
☎0544-22-1155  
●最寄りの駐車場からシャトルバス運行



西 天方

11月23日(土・祝)・24日(日)

森町クラフトフェア 手作りの工芸品が並ぶ。

アクティ森  
周智郡森町問詰1115-1 ※無料駐車場あり  
アクティ森 ☎0538-85-0115

西 ほっと龍山

11月24日(日)

ほっと龍山 秋の実・感謝祭

龍山ふれあい文化祭の屋外イベントとして、歌謡ショーや串芋、五平餅など販売

龍山森林文化会館駐車場  
浜松市天竜区龍山町瀬尻982-2 ※駐車場あり  
NPO法人ほっと龍山(担当:内山)  
☎053-986-0360

西 和地ふるさと会

11月24日(日) 10:00~12:00

餅つき大会 (受付9:00~9:30)

小学生を中心にお米の一生を学習する取り組みの中の「最後のイベントで食べて楽しもう」を開催

西大山集会所

浜松市西区大山町 ※駐車場あり  
和地ふるさと会 西大山地区(担当:豊田啓一)  
☎053-486-3664、090-8672-7581  
●定員25名(最小敢行人数10名)、参加無料

西 一の宮の里

11月下旬 小國神社紅葉見頃

川沿いの散歩道で紅葉が楽しめる。

小國神社

周智郡森町一宮3956-1 ※無料駐車場あり  
小國神社 ☎0538-89-7302  
●シャトルバスあり(紅葉期間中)

東 柚野の里

11月10日(日) 9:00~15:00

信長公黄葉まつり

信長公首塚に纏わる供養祭から始まり、武者行列・火縄銃演武など盛りだくさんのイベント。楽市・楽食・信長夢の食街道も行われる。

富士山西山本門寺 富士宮市西山671  
信長公黄葉まつり実行委員会(芝川商工会)  
☎0544-65-0273  
●JR富士宮駅からシャトルバス運行



東 中郷地区

11月16日(土)

JR東海さわやかウォーキング「ようこそ秋の三島へ~テクテク銀杏並木を街道散策~」

約600mに渡るイチョウ並木の黄葉を楽しみ、源兵衛川を巡るウォーキング

三島市文教町イチョウ並木周辺及び源兵衛川上流など ※駐車場あり(少)

三島市商工観光課 ☎055-983-2656  
●定員/30名  
●会費/2,500円(3~10歳1,500円、2歳以下無料)

西 ほっと龍山

11月17日(日)

ドラゴンママ「食」体験

山芋掘り体験・とろろ飯、他亥の子ぼた餅づくり

ドラゴンママ加工工場

浜松市天竜区龍山町瀬尻930-1 ※駐車場あり  
ドラゴンママ加工工場 ☎053-968-0011  
●定員/20名  
●会費/3,500円(10歳以下2,000円)

東 天子ヶ岳の里

11月17日(日) 10:00~14:00

彼岸花植栽及び彼岸花写真コンクールの成績発表会

彼岸花植栽及び9月20日前後の彼岸花写真の審査及び表彰

半野区民館 富士宮市半野550-1  
天子ヶ岳の郷保存の会(書記:渡邊和良)  
☎0544-54-1332

西 天方

11月中旬

オープンハウス ぷぷぷの日

人・自然の暮らしぶりを味わう里山めぐり

天方・三倉地区

森町ツアーズ研究会 ☎0538-85-6315

東 三島箱根西麓地区

11月23日(土・祝) 10:00~15:00

三島秋まつり ~三島フードフェスティバル2019~

三島のグルメや箱根西麓三島野菜などの特産品を多数集め、「食と食育のまち三島」をPRするイベント

水上通り、ほか市内各所

三島フードフェスティバル実行委員会  
☎055-983-2766



# むらサポ

## 募集

# 来て! 食べて! 見て!

## 魅力いっぱいの 農山村を応援しよう

まずは登録!  
農山村の旬な情報満載のメルマガが  
あなたのもとに届きます!!

登録  
無料

登録はこちらから!



公式ウェブサイト  
[www.shizuoka-murasapo.net](http://www.shizuoka-murasapo.net)

しずおか むらサポ 検索



Facebook  
[www.facebook.com/shizuokamurasapo/](http://www.facebook.com/shizuokamurasapo/)



Instagram  
[www.instagram.com/murasapo/](http://www.instagram.com/murasapo/)

来て!

イベントや農業体験、  
ボランティア活動



見て!

棚田や茶園、  
花畑など季節の  
美しい景観



食べて!

旬な農産物や  
特産品



気になるものがあつたらぜひ「来て!」「食べて!」「見て!」ください!!  
あなたのちょっとしたアクションが、  
農山村を盛り上げることに繋がります。

企業や  
大学も  
大歓迎!

◎農山村を応援する法人・団体として「むらサポ」WEBサイトで紹介します。

◎企業の強みを農山村支援に活かしたい! → 支援を求める農山村とマッチングします。



ふじのくに  
美しく品格のある邑  
Charming and Graceful Villages in "FUJINOKUNI"  
「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合



公式ウェブサイト  
<http://www.fujinokuni-mura.net>

美しく品格のある邑 検索



Facebook  
<https://www.facebook.com/muradoki/>  
ふじのくに美しく品格のある邑づくり  
情報発信チーム『邑ドキッ!』